

監査委員の意見

一般会計

①町税収入は前年度と比較して六・九%の増となつたが、徴収率は年々低下傾向にあり、平成9年度も前年度を0・8ポイント下回っている。この要因は長引く景気の低迷等による影響と思われるが、税収入は町の貴重な自主財源であり、今後も更に徴収体制の強化を図り、徴収率の向上に尚一層の努力を期待する。②歳出は前年度と比較して一・九%の増となつていて、これはスポーツ広場整備事業、上堺小学校並びに上堺保育所の空調設備機能回復工事などの大型事業等により増額になつたものと考えられる。また、経常的経費が前年度よりも三・九%増加しているが、この経費は今後も増えることが予想されるため、経費の節減に十分留意し、合理的、かつ効率的な行政運営を図る必要がある。今後、予算編成に当たつては、あらゆる情報を察知し、的確な判断のもとで限りある財源を有効に活用できるよう努力願いたい。

③近年、地方税の伸び悩みなどによる財政状況の悪化が懸念される一方、高齢化社会の進展に伴う福祉サービスの充実等住民の行政に対する要望は年々高まっている。このような状況を踏まえ、事務事業並びに組織・機構の見直し等を行い、最小の経費で最大の効果が上がるよう行財政改革に務められたい。

国保会計

収入未済・不納欠損額が調定額の二八・五%にもなつており、収入率は、年々低下の傾向にある。国保税は国保会計における唯一の自主財源であり、受益者負担の公平を期するためにも未納整理に最大の努力を願いたい。

老人保健会計

老人医療費は年々増加傾向にあり、今年度も医療諸費が前年度対比で三・七%の増となつていて。今後益々高齢化が進む中、引き続き保健衛生の指導と老人医療に対する認識を深め、それぞれが自己管理に努めることによって医療費の抑制を推進し、疾病予防対策を図る必要がある。

任期満了（8月27日）に伴う農業委員の改選（今回は無投票）が行われ、選挙による委員10名、山武郡市農業協同組合及びわかしお農業共済組合が組合ごとに推薦した理事各1名、町議会が学識経験を有する者として推薦した委員3名、合わせて15名が決まりました。

改選後の初総会は9月4日に開かれ、会長に八角操氏（寺方）、会長職務代理者に伊藤富雄氏（立会）が就任しました。

会長に八角操氏 会長職務代理者に伊藤富雄氏

新農業委員15名が決まる



▼農業委員会は、農地に関する権利移動の許可や農業生産力の発展と農業経営の合理化を図り、農家のみなさんの地位向上に寄与するため設けられた代表機関です。

又は知事の許可が必要となります。委員会議は、原則として毎月21日に開かれますが、関係書類については、6日から10日までの間に農業委員会事務局へ提出して下さい。

—敬称略—